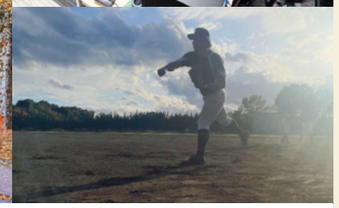
静岡大学
Shizuoka University

静岡大学未来創成基金
活動報告書
2025



静岡大学の活動に対してご支援を賜り、誠にありがとうございます。

本学は、「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献することを目指しています。

2025年度は、教育学部創基150周年、電子工学研究所設置60周年、情報学部創設30周年と、節目を迎えた年でした。皆さまへの感謝を込めて開催いたしました記念式典では、これまで積み重ねられた歴史と文化に思いを馳せ、その歩みを振り返るとともに、未来へと繋ぐ決意を固める場となりました。

この節目を契機として、本学はこれからも一層、教育・研究の質を向上させ、「知と人材の集積拠点」としての使命を果たしてまいります。

また、2026年は、産業高度化を主導する日印共創人材育成プログラム（InSPIRE）による学生交流促進事業を計画しています。本プログラムを通して教育の国際通用性を一層高め、国際性豊かで多角的な視点を持つ人材を育成し、地域に輩出します。

皆様からのご寄附は、幅広い支援事業を通じて、引き続き社会に還元していく所存でございます。本学への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

静岡大学長

日詰一幸

静岡大学未来創成基金 2025年度のご報告

皆様の温かいご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。

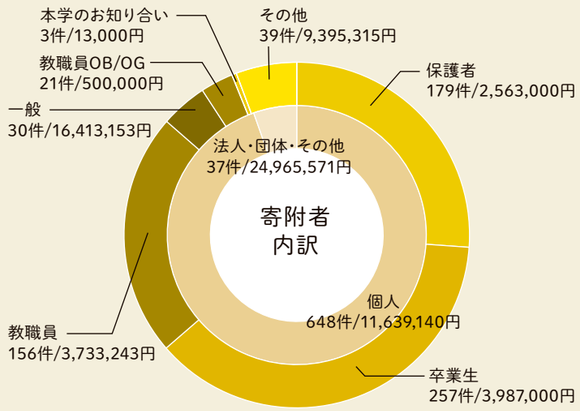
静岡大学未来創成基金にご支援いただきありがとうございます。
2012年度創設から2025年度までの静岡大学未来創成基金へのご支援累計は以下のとおりとなりました。

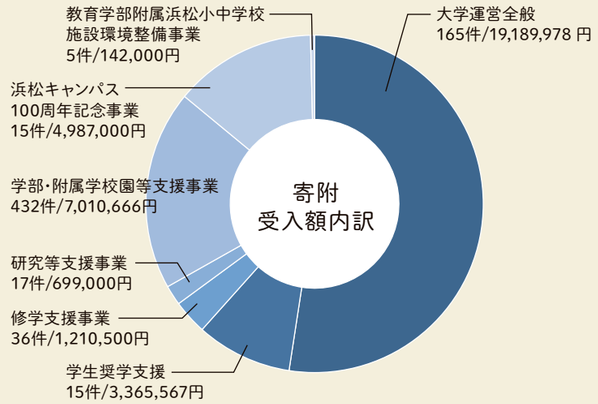
累計総額 913,025,605円 | **累計総件数** 9,684件

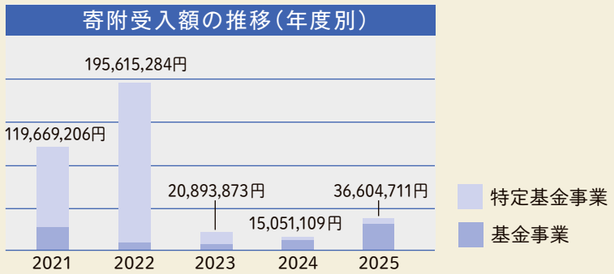
（2012年度創設～2025年度）

寄附受入額

寄附受入件数（2025年4月1日～2026年3月31日） 685件 | 寄附受入総額 36,604,711円

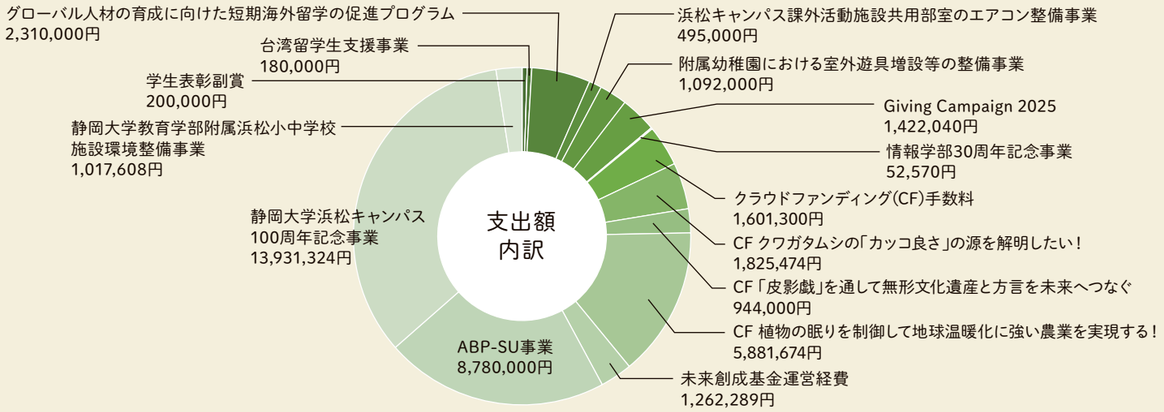






支出報告

支出合計（2025年4月1日～2026年3月31日） 40,995,279円



6つの項目から選んでご寄附いただけます。

静岡大学未来創成基金は、学生支援、研究・教育活動、国際交流の充実、環境整備を支援するために設置されました。
2012年度から卒業生や地域の皆様より多大なご支援を賜り、本学の幅広い活動に活用させていただいています。

2025年度も皆様のご寄附で、さまざまな事業を行うことができました。学生たちの感謝の声とともにご紹介します。

大学運営全般 ／ 学生奨学支援 ／ 修学支援事業 ／ 研究等支援事業 ／ 学部・附属学校園等支援事業 ／ 特定基金事業

大学運営全般

学術研究支援、国際交流事業、キャンパス整備等の大学運営全般に広く活用します。

支援の報告

学生表彰副賞

学術研究活動や課外活動、社会活動において、特に顕著な業績を挙げた学生や団体に学長から表彰状が授与され、副賞として奨励金が贈呈されます。2025年度は個人9名、5団体が受賞しました。 ※学年・所属は受賞当時のものです。

総合科学技術研究科理学専攻2年
大久保 洸佑 さん

実験結果を考察して論理に筋が通った時には大きな達成感と自分が成長した実感を得られました。3年をかけた研究の成果が認められ、とても誇らしいです。

静岡大学ロボットファクトリー
工学部電気電子工学科3年 宮崎 陽 さん
工学部機械工学科3年 後藤 匠 さん

コロナ禍で途絶えた技術を手探りで積み上げ直してきた努力が報われて嬉しいです。（写真左・宮崎さん）
後輩の皆さん、興味があることにはまず挑戦してみてください。挑戦しなければなにも始まりません。（写真右・後藤さん）

課外活動施設へのエアコン設置

近年、夏の猛暑や冬の冷え込みが厳しくなる中、エアコンが未設置だった共用1室では、空調が必要な時期に活動ができない状況が続いていました。設置が完了したことにより、活発な課外活動を展開できるようになりました。

エアコンの設置に喜ぶレゴサークル部員

学生奨学支援

優秀学生に対する奨学金等の援助、課外活動への支援、その他学生支援に必要な事業を支援します。

支援の報告

Giving Campaign2025

鳥人間コンテストに使用する機体の素材を購入できました！

大会に向けて機体製作中のヒコーキ部（浜松キャンパス）

学生の研究活動や課外活動の応援・支援を目的に、活動資金調達を行うイベント「Shizuoka University Giving Campaign 2025」を10月10日（金）から19日（日）に実施しました。Giving Campaign は2021年に始まったオンラインイベントで、参加した学生団体は、期間中に自らの活動についてSNSやOBOGネットワークに発信し、応援と寄附を募りました。期間中に8,406票の応援があり、全体で1,357,370円の寄附が集まりました。ご支援いただきありがとうございました。

修学支援事業

経済的理由により修学に困難がある学生等に対する支援をします。【税額控除対象】

支援の報告

グローバル人材の育成に向けた短期留学の促進プログラム

全学の学生に対し、新たに慣れ親しんだ環境から飛び出して海外で外国語によるコミュニケーション能力の向上をはじめとした能力を身につけ、地域や世界規模の課題を自ら解決することができるグローバル人材育成を目的として設置されました。夏季休暇・春季休暇中に国際連携推進機構やグローバル共創科学部が実施する短期留学プログラムに、経済的理由により自費のみでは参加が困難な学生に対して奨学金を支給します。

今川 こころ さん
グローバル共創科学部3年
マレーシア　クアラルンプール マラヤ大学
ベトナム　企業訪問・学生交流

挑戦を後押ししてくださった皆様、ありがとうございました。グローバル社会に貢献してまいります！

マレーシアでは、対話を中心に語学力を磨き、多様な民族や宗教が共生する街並みから日本とは違う多文化共生のあり方を実感しました。ベトナムでは日系企業や大使館の方々にお話を伺い、仕事に誇りを持って楽しそうに語る姿に触れ、「海外で働く」ことへの強い憧れと覚悟を持つことができました。最終セレモニーでは150人以上の前で現地学生と共にMCにも挑戦しました。留学を通じ、異なる文化や価値観をそのまま認め合い、受け入れる柔軟性を身に付けるとともに、将来のキャリアへの視野が大きく広がりました。

研究等支援事業

学生やポスドク等の若手研究者を支援します。【税額控除対象】

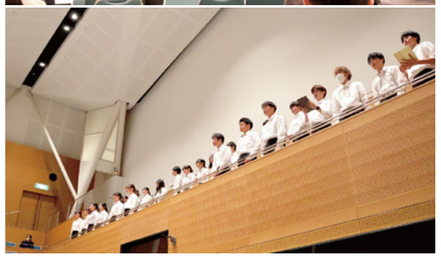
学生または不安定な雇用状態にある研究者に対する研究活動費用の支援や研究者としての能力等の向上を目的とした交流の促進などの事業を行います。競争力のある研究の推進や世界で活躍する人材の育成のため、ご支援のほどよろしくお願いします。

学部・附属学校園等支援事業

ゆかりのある学部・研究科・附属学校園を指定して寄附いただけます。

支援の報告

【教育学部】
教育学部創基150周年記念事業



令和7年に創立150周年を迎えたことを記念して、令和8年3月14日（土）に記念式典を挙行いたしました。当日は、県内教育関係者や卒業生など約220名の方にご参集いただきました。
式典は、吹奏楽団による華やかな演奏で幕を開け、本学名誉教授の小和田哲男氏による記念講演、卒業生や教育関係者による教員養成をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。
式典の最後には、混声合唱団による「すずらん」の美しい歌声とともに、記念映像「教育学部の現在（いま）と未来へ」を上映。これまでの歴史を盛大に祝い、次の150年へとつなぐ素晴らしい節目となりました。
教育学部はこれからも未来を担う若者たちの成長を力強く支えていきます。教育・研究環境のさらなる充実のため、「静岡大学教育学部創基150周年記念事業募金」へのご協力をお願いいたします。

【附属幼稚園】
遊具「うんてい」「てつぼう」の新設

園庭環境の充実を目的として、園児の発達や多様な動きを考慮した遊具の見直し・整備を行っております。今回、鉄棒、雲梯を新設した結果、園児の主体的に体を動かす姿が、より多く見られるようになりました。どちらの遊具も大人気で、毎日のように子どもたちの賑やかな声が響いています。
また、安全な環境を整備したことで、協同的な活動が一層活発となりました。今後も引き続き、園内の環境整備の充実に努めていきたいです。

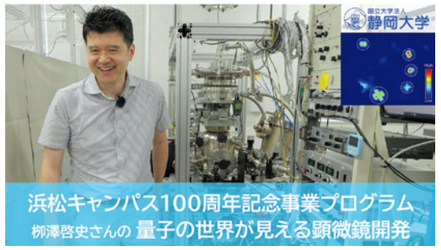
支援の報告

静岡大学浜松キャンパス100周年記念事業

募集期間：2024年6月3日～2026年3月31日

2026年3月までの寄附募集期間において、本事業に温かいご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。
本事業の活動の一つとして、ノーベル賞に匹敵するような研究人材創出のため、量子イメージング分野研究者の柳澤啓史特任准教授を2024年度に招へいしました。
柳澤特任准教授は2025年度に科研費基盤Aに採択され、ものづくりセンターの協力を基に新しい電子顕微鏡の開発の研究を発展させています。このたび、その研究内容を紹介する動画を作成しましたのでぜひご覧ください。

紹介動画はこちら



特定基金事業

特定の使途目的を定め、期間を限定し募集をしている事業です。

静岡大学未来の科学者養成スクール（FSS）事業

募集期間：2026年3月19日～2031年3月31日

本事業はこれまで、科学技術振興機構（JST）の支援と本学の独自財源により継続してきましたが、公的支援期間が終了した現在は、今後の事業の継続が危ぶまれています。これまで同様に実績と信頼を積み上げ、引き続き受講生の探究心を支える貴重な学びの場を永続的に発展させるため、本基金を設立いたしました。未来を創る若者への投資として、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

責任者からのメッセージ ーMESSAGEー

地域に根ざす国立大学のミッションとして、小中高大連携強化による人材育成の重要性を認識し、多くの優れた人材を輩出していきたいと考えています。実際に本事業で学んだ受講生は飛躍的にその能力を発展させています。皆様のご理解と、あたたかいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

静岡大学理学部教授　石原 顕紀

事業内容 ーCONTENTー

将来グローバルに活躍し得る傑出した科学技術人材を育成することを目的として、地域で卓越した意欲・能力を有する高校生などを対象に、国際的な活動を含む高度で体系的な教育プログラムを実施しています。
本プログラムでは「つなげる力」の養成に主眼を置き、様々な分野の知識をつなげ、多様な背景を持つ人々と協働する力を培います。

FSSが支援した学生グループが世界最大級の高校生科学技術コンテスト(ISEF)で動物科学部門の4位に入賞

静岡市と連携して「放任竹林問題の解決プラン」を立案

豊富な討議や発表、そして地域のリアルな課題解決に挑戦する経験を通じて、将来日本および世界の科学技術発展を担う人材育成を目指します。

受講生の声 ーVOICEー

この度、ISEF2026 Animal Sciences部門において4等を受賞することができました。ここまで研究を発展させ、このような成果を得ることができたのは、静岡大学FSSの多大なるご支援のおかげであると強く感じております。
また、研究面でのご指導だけでなく、FSSで実施していただいた講義、特に英語での会話表現やディベートの経験は、ISEFでの発表や質疑応答において大きな支えとなりました。研究内容を相手に分かりやすく伝える力や、自分の考えを英語で論理的に説明する力を養うことができ、ISEFの舞台で非常に役立ったと実感しております。
このような貴重な経験と学びの機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。　（2024年度入校生、焼津中央高校　石橋桐磨さん）

ご寄附の方法

□ ゆうちょ銀行、郵便局、三井住友銀行窓口でのお振込み

指定の払込取扱票に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行、郵便局または三井住友銀行店舗の窓口でお振込みください。
お手元に払込取扱票がない場合は、お手数ですが、静岡大学 広報・基金課基金係までお問合せください。

□ インターネットからのお申込み

静岡大学未来創成基金ウェブサイトより、下記の方法でお申込み頂けます。
○クレジットカード決済　○コンビニ決済　○Pay-easy（インターネットバンキング決済）

静岡大学
未来創成基金
ウェブサイト

□ リサイクル募金によるご寄附

古本・DVD・ブランド品などをリサイクルし得られたお金が、寄附項目“大学運営全般”として寄附され、本学の教育研究活動や学生支援などに役立てる取り組みです。リサイクル品の回収は、WEB・お電話からお申込みいただけます。詳しくは右記QRコードよりリサイクル募金のウェブサイトをご覧ください。

2025年度は1,486点
50,961円のご寄附となりました

リサイクル募金
ウェブサイト

□ 遺贈によるご寄附

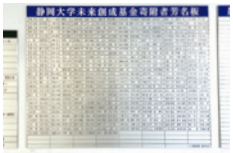
遺言によるご寄附を希望される方は、静岡大学広報・基金課基金係までお問合せください。

寄附特典

ご寄附の累積額に応じた謝意の表明と特典

特　典	個 人	法人及び団体
芳名板の静岡キャンパス及び浜松キャンパスでの掲示	10万円以上	200万円以上
上記に加え、感謝状及び記念品の贈呈	50万円以上	500万円以上

※特典は予告なしに変更することがあります。



静岡キャンパス大学会館の芳名板

ご寄附いただいた全ての皆様への謝意の表明と特典

○静岡大学広報誌「SUCCESS」の送付(1回のご寄附につき原則2回)
○静岡大学未来創成基金ウェブサイトへのご芳名掲載
※ご芳名の掲載・掲示を希望されない方々につきましては、掲載・掲示いたしません。

［記念品一例］
駿河竹千筋細工
（静岡大学限定）

紺綬褒章

紺綬褒章は国の褒章制度のひとつで、公益のために、私財（個人は500万円以上、法人等は1,000万円以上）を寄附した方に授与されます。また、予めお申し出いただいた場合には、分納によるご寄附も対象となります。本学では、寄附者様のご意向を確認させていただきます。
※国の審査があります

静岡大学広報誌「SUCCESS」

税制上の優遇措置

個人からのご寄附	静岡大学未来創成基金へのご寄附の全てが、所得控除の対象になります。 「修学支援事業」、「研究等支援事業」へのご寄附は、税額控除の対象になります。 お住まいの都道府県・市町村によっては、個人住民税の控除が受けられます。詳しくは、お住まいの都道府県・市町村にお問合せ願います。
法人・団体からのご寄附	静岡大学未来創成基金は、法人税法上の全額損金算入を認められる寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として財務大臣から指定されております。 お寄せいただいた寄附金は、法人の所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。

静岡大学広報・基金課 基金係　〒422-8529 静岡市駿河区大谷836　TEL：054-238-5183　https://kikin.adb.shizuoka.ac.jp　発行：2026年10月